

学会参加報告書

群馬大学理工学府電子情報・数理教育プログラム修士1年

三木 夏子

<出席会議名称>

International Symposium in Intelligent Signal Processing and Communication Systems 2017

<開催地>

厦門（中国）

<期間（渡航期間）>

平成29年11月6日から11月9日（渡航期間は6日～11日）

<会場>

Wanda Realm Xiamen North Bay Hotel Xiamen, China

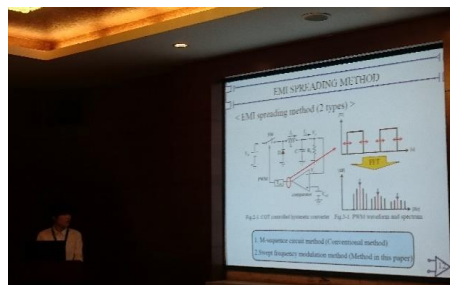
<発表論文題名>

EMI Reduction Technique With Noise Spread Spectrum Using Swept Frequency Modulation for Hysteretic DC-DC Converter

<論文共著者>

Natsuko Miki*, Koyo Asaishi, Nobukazu Tsukiji, Yasunori Kobori, Nobukazu Takai, Haruo Kobayashi

<発表について>



11月9日の学会最終日午前のセッションで発表しました。会場は各日5つほどあり、私が発表した部屋はXUNJIANG Roomという定員30名ほどの会場でした。また、スタッフの方もとても親切で、準備から発表までスムーズに進めることができました。

発表を終えて、自身の未熟さを痛感すると共に、基調講演や他大学の方の発表を拝聴することができ、大変勉強になりました。

<その他出来事について>

・11月6日(月) 1日目

4時30分：成田空港に向かうため、群大最寄りのセーブオンに集合

9時55分：定刻通り出発(NH935)

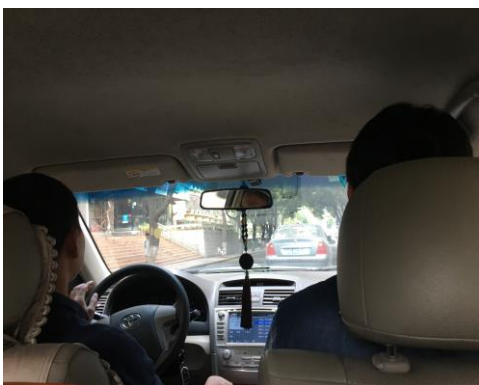
13時45分：廈門市高崎国際空港到着

14時30分：ホテルに到着&チェックイン

15時30分：発表会場にて、受付

17時30分：晩御飯 in 会場ホテル

24時00分：就寝



廈門の空港からホテルまではタクシーで移動。

車の交通量と運転に驚く。

車線はあってないようなもの…

右折は信号に関係なく曲がってよし…

クラクションをバンバン鳴らす…

なんと言っても車間距離が狭い…

ただ、それでもぶつかることも急ブレーキもなく、運転技術の高さに驚いた。

宿泊先ホテルの外観と部屋。

1人で泊まるには十二分過ぎる程広い…



学会受付にて貰ったもの。

(名札・リュックサック・参加費領収書・パンフレット・論文入り USB・手帳・ペン・食事券など…)

学会ロゴ入りのリュックサックは、ノートパソコンを入れる場所もあり、かなりしっかりしている。



会場ホテルの奥の海を背景に集合写真。
後ろの岩には「永結同心」という文字…
これは中国で結婚を祝福する言葉の1つで、
「永遠に心を1つに、末永くお幸せに」とい
う意味があるそう。



会場ホテルにて晩御飯。
全体的に辛い味付けの料理が多い印象…。
また、カエルやイノシシなどと珍しい動物の料理も…。



会場ホテルのライトアップ。

マンションもライトアップされており、夜でも
外が明るい。
また、昼に比べて路上駐車・歩道駐車の数がか
なり多い。
駐車場はないのだろうか…



・11月7日(火) 2日目

8時00分：起床&朝ご飯

9時30分：会場に向かう

12時00分：お昼ご飯

14時30分：午後のセッション開始
(建龍さん)

16時00分：集美鳌园、陳嘉庚公園に観光

19時00分：晩御飯 in 会場ホテル

24時00分：就寝



ホテルの朝食。

オレンジジュースやレモン水まで、飲み物はすべて温かいことに驚く。

味付けなども含め、全体的に体に優しい朝ごはんという印象…

陳嘉庚という人物について記されている。

日中戦争中、中国に巨額の支援金と物資を送り、抗日活動を援助した。

集美学校や厦門大学の創設者であり、厦門の開発事業や教育・福利施設の運営に注力した人物である。



集美解放記念碑。

抗日戦争の記念碑。

「集美解放記念碑」と書かれた金色の字は毛沢東直筆のもの。



地元のコンビニにて。
カートが日本にはない珍しい形。
かごに直接ローラーがついている。

ホテルにて。
みんな疲れているにもかかわらず、自然と集まって久しぶりの大富豪を楽しむ…。



- ・ 11月8日(水) 3日目
- 8時00分：起床&朝ご飯
- 11時30分：会場に向かう
- 12時00分：お昼ご飯
- 14時30分：午後のセッション開始
(井田、高橋、小澤、姚さん、福田)
- 19時00分：晩御飯バンケット in 会場ホテル
- 24時00分：就寝



バンケット会場の様子。
高級ホテルの煌びやかなセット。

以下はバンケットの料理です。



北京ダック



海鮮系の煮物!?



アワビと山芋



豚肉と春雨のスープ



魚の蒸し煮



ホタテとエビとキノコ炒め



海鮮スープ



インゲンと木耳の炒め



青菜チャーハン



青菜炒め



杏仁ゼリー



フルーツ



CULTURE SHOW ということで、歌や楽器、ダンスなど様々な演目が披露された。

・11月9日(木) 4日目

6時30分：起床&朝ご飯

8時00分：会場に向かう

8時30分：午前のセッション開始

(新井、櫻井、孫さん、石井、熊さん、小堀先生、サハン、三木)

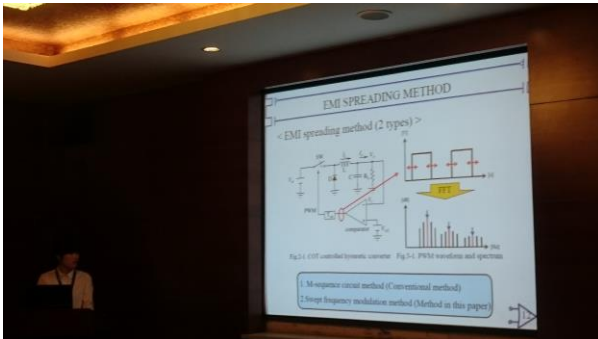
11時30分：お昼ご飯

12時40分：学会主催の観光

20時00分：近くのレストランで晩御飯

21時30分：ショッピングモールでお土産探し

25時00分：就寝



発表の様子。

午前のセッションですべての発表が終了。

午後の学会主催観光。

バスに乗って約30分ほど移動し、大きなテーマパークに。

1時間ほどのショーを観る。

会場の観客席が回転しながら、物語が進むかなり規模が大きいものだった。

内容としては、生命の起源から現在の厦門までというもの。



ショーの後は、パーク内の観光。

小さな建物が沢山あり、厦門の歴史に関する展示や、中国の名字における家訓や由来など…。

自由時間の1時間半ほどでは広すぎて全ては回れなかった



晩御飯の様子。

厦門に来てから初の外食。

ビールを頼むと、1セット 12本+サービスの6本で計18本！！

以下は注文した料理の写真。



枝豆とピーナッツ



回鍋肉風炒め



木耳と野菜炒め



チンジャオロース



麻婆豆腐



焼きうどん



えのきスープ



チャーハン



唐辛子と鶏肉



豚肉の串焼



じゃがいもの串焼



豆腐の串焼

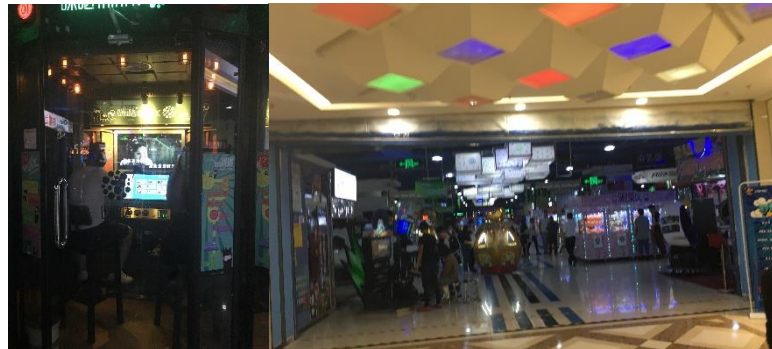


ホテル周辺の大型ショッピングセンター。

VANDA PLAZA。

内装は日本と似ている。

ゲームセンターもあり、中には日本ではあまり見かけないカラオケボックスが！ガラス張りなので外から丸見え…。



・ 11月10日(金) 5日目

6時00分：起床&朝ご飯

7時00分：ホテル出発

10時00分：フェリー乗り場近くの公園散策

11時30分：フェリーで鼓浪嶼へ

12時30分：お昼ご飯

13時30分：鼓浪嶼観光

18時00分：晩御飯

20時30分：お土産探し&買い物

23時00分：荷造り

25時00分：就寝



フェリー乗り場近くの公園から見える景色が抜群。



フェリーは往復で 50 元。
約 1 時間で鼓浪嶼に到着。
コロンス島とも呼ぶらしい。

お昼ご飯の様子。
15 人で囲む丸テーブルはかなり大きい。
写真手前の洗面器とお湯は食器の熱湯消毒用のもの。
水道水が飲料用でない、中国ならではの習慣を体験…。



蟹のピリ辛炒め



キャベツの炒め



海鮮と大根スープ



牛肉とピーマン炒め



ピリ辛ラーメン



木耳炒め



きゅうりとクラゲ和え物



豚の角煮



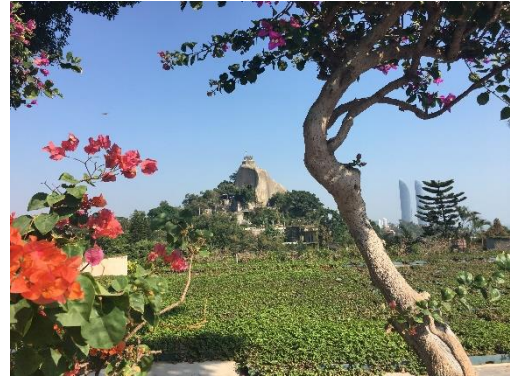
豚肉のから揚げ



鼓浪嶼を観光できるチケットを購入。

これで、日光岩・琴園・菽莊花園・刻字館・皓月園・風琴博物館のすべてを回ることができる。

日光岩を遠くから見た写真。
かなり距離があるように見える…。



休憩で飲み物を購入。

フタにはよく見たことのあるキャラクターが…。

味はアーモンド・ブドウ・オレンジと様々…。
パッションフルーツも売られていた！

こちらに来てから一番の天気ということもあり、日差しがかなり強い…。
熱中症対策は必須！



上り階段がとても急。
若者でもかなりへトへトに…。

登った先には綺麗な景色が！！

上から見ると分かるが、鼓浪嶼の建物は壁の色が白、屋根の色が茶色に統一されており、ヨーロッパのような風景！



先ほどの場所は頂上ではなく、もう一段階上があった…。

かなり高い…風も強い…人も多い…。

ここが本当の頂上!!
日光岩というネーミング通りかなり眩しい…。
天候に恵まれ、鼓浪嶼を一望できた。



案の定、下りもかなり急。
手すりなしでは降りられない…。

ピアノのみが展示されている博物館。
スタインウェイなど、世界各地の名高いピアノが展示されている。
単位面積当たりのピアノ保有台数は中国一で「ピアノの島」とも呼ばれる。





サフランの海鮮チャーハン



海鮮お好み焼き



アサリ



白菜の煮物



海鮮焼きそば



豚の角煮



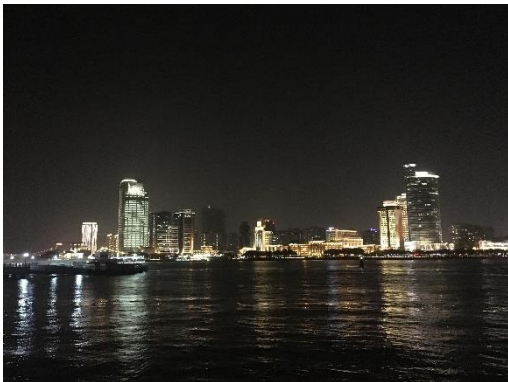
土笛



アワビ蒸し煮



魚のピリ辛スープ



帰る頃にはすっかり真っ暗に…。
夜景がとても綺麗！！

夜景を背景に集合写真。
通りすがりの観光客の方が撮ってくだ
さった…。
親切…。
写真もバッチリ！



・ 11月11日(土) 6日目(最終日)

8時00分：起床&朝ご飯

11時00分：ホテルチェックアウト

11時30分：空港へ向かう

14時00分：お昼ご飯

16時15分：定刻より約1時間半遅れで出発(NH936)

20時30分：成田空港到着

23時50分：群大到着&解散



厦門最後のご飯は空港でのバーガーキング。

こちらでは、飲み物がペットボトルでつくらしい…。何も言わないとセットにはペプシのペットボトルがつくことになる。

この後、飛行機が1時間半遅れ、お土産をゆっくり見て時間を潰す…。

無事に到着。

一週間本当にお疲れ様でした。



<謝辞>

今回は ISPACS 2017 に参加するにあたって、大変お世話になりました厦門理工学院の林海軍先生をはじめ、東京都市大学の傘先生、また、国際交流援助資金を寄付して頂きました中部電気利用基礎研究振興財団の皆様に厚く御礼申し上げます。

皆様のお力添えにより、国際学会での論文発表という大変貴重な経験を得られたと同時に、自分自身の未熟さを痛感することが出来ました。

今回の経験を生かし、今後も一層学業に邁進してまいります。